

診療科紹介：看護部

看護部では「地域の皆様ひとりひとりが大切にされたと感じられる看護を行います」という理念を掲げています。

地域の皆様に選ばれ続ける病院であるためにも、患者の皆様およびご家族の皆様が安心され、満足される看護を提供できるよう、看護師一人ひとりが自分の役割を認識しながら日々自己研鑽しています。

また、一人ひとりの患者の皆様が大切にされていると思えるような関わりが必要であると同時に、関連施設との情報交換や地域サービスの活用などについての知識を蓄え、住み慣れたところで自立した生活が長く続くように連携の充実を図っています。

在宅医療などの地域医療の資源は、まだまだ十分とはいえない状況にあります。地域と一本化した医療を目指すには、病院という組織がもっている専門性を活かしていくことが必要だと考えています。当院では、日本看護学会の認定看護師が現在6名おり（感染管理・緩和ケア・救命看護・重症集中ケア・乳がん看護・新生児集中ケア）、再来年までに、さらに8名の認定看護師が誕生する予定です。計14名ともなれば、一施設における認定看護師数は県下で上位から3番目に入ります。そのほか、多くの資格を持った看護師がいます。

それぞれの専門性を高め、患者の皆様へ提供する看護サービスの質の向上により一層努めていきたいと思っています。看護師一人ひとりの取り組みが看護部全体、そして病院全体の取り組みに発展し、皆様に最高のサービスとして提供できるよう取り組んでまいります。



〒432-8580 浜松市中区富塚町 328

TEL 053(453)7111 : FAX 053(452)9217

URL <http://www.hmedc.or.jp> : E-Mail koho@hmedc.or.jp

《編集後記》 新しい年度がスタートしました。浜松医療センターも新しい院長を迎え、更なる飛躍の年になるよう頑張っております。また、この「ふれあい」も今年度から年4回発行になりました。より新鮮な情報を皆様にお届けできるよう頑張ります。

発行：広報委員会

ふれあい



まだ、お話しはできないけど、目と目でしっかり会話をしています。私達の未来を担う大切な命を看護できる責任と喜びを感じています。

目次

- ◎ 市民公開講座「よくわかる！がんの看護」
- ◎ 新院長に就任して
- ◎ お知らせ「医療費預り金について」
- ◎ 診療科紹介：看護部
- ◎ 編集後記：新年度を迎えて・・・

～ ご自由にお持ち下さい～

新院長に就任して



浜松市民の皆様、このたび県西部浜松医療センター病院長に就任いたしました小林隆夫でございます。私は昭和51年4月に浜松医科大学産婦人科に入局し、以後27年間にわたり助手・講師・助教授を務め、平成15年4月に信州大学へ赴任いたしました。信州は私の生まれ故郷でありますが、この度5年ぶりに自宅のある浜松へ戻ってまいりました。医療センターは浜松医科大学の関連教育病院として機能しており、私にとっては公私にわたり関連深い病院でございます。

さて、近年、医師不足、診療報酬引き下げ、交付税削減などが重なり、全国的に公立公的病院の赤字が加速されています。また、救急搬送受け入れができないなどの事態に至るところで勃発しています。医療センターの基本理念は、1) 市民に愛され地域を支える病院、2) 一人ひとりの尊厳を保つ確かな医療、3) 日々の自己研鑽と未来への継承であります。救急医療、周産期医療などで受け入れ拒否は、できるかぎり避けなければなりません。医療センターは、診療所・病院、さらには浜松医科大学との深い連携のもとに、時代のニーズに応えた最新・最善、かつ安全な、患者第一主義の医療を浜松市民に提供することを目指し、かつまた市民の健康増進や疾病予防にも努めます。

平成21年のオープンを目指すバースセンター構想は、まさに鈴木康友市長のマニフェストの具現であり、地域参画型の母子に優しい病院の新しいスタイルでもあります。

昨年末の浜松市の行財政改革推進審議会では医療センターのさまざまな問題点が指摘され、近い将来運営形態を地方独立行政法人へと移行するように提言されました。医療センターを取り巻く環境は非常に厳しいものがありますが、市民の皆様が安心して医療を受けられる病院であると同時に、公的な事業使命を果たすべく効率の良い健全な病院経営を行うよう職員一同一致団結して努力する所存でございますので、何卒温かいご支援をお願い申し上げます。

◎ 市民公開講座

「よくわかる！がんの看護」開催

今回のテーマは「看護」です。聖隷クリストファー大学学長の小島操子先生をお招きして、「がん看護のこれから」について講演いただきます。また、多様化する看護師の医療における重要性などについてお話しします。詳しくはホームページ (<http://www.hmedc.or.jp>)、または、院内に掲示してあるポスターをご覧ください。

- 日時 平成20年5月10日(土)
14時から16時30分(13時30分開場)
- 場所 アクトシティ浜松
コンgresセンター31会議室
- 定員 330名(入場無料:直接お越し下さい)
- 講師

・聖隷クリストファー大学学長 小島操子 先生

「がん看護のこれから」(仮題)

・県西部浜松医療センター看護部

乳がんケア認定看護師 天野一恵

緩和ケア認定看護師 渡邊 麻衣子

リンパドレナージセラピスト 仲山 綾子

● その他

会場前フロアにて、助産師と感染管理・集中ケア・救急看護・新生児集中ケアの各認定看護師の活動についてポスターを使って紹介します。

◆◆ 医療費預り金について(お知らせ) ◆◆ 当院では、時間外・深夜等(お会計ができない時間帯)の診療における医療費について、診察終了後に患者の皆様から一定金額をお預かりする「医療費預り金制度」を導入することにいたしました。なお、医療費預り金につきましては、翌診療日以降(平日 午前8:30~午後17:00)にご来院いただいた時に、当診療費支払い確認後、ご精算させていただきます。この制度につきまして、ご理解とご協力をお願いいたします。

- お預かりする金額 保険証の提示があった場合 3,000円 ・保険証の提示がない場合 5,000円 ・乳幼児受給者証の提示があった場合 500円
- 医療費預り金制度の開始日 平成20年4月1日(火)午後5時から 午後5時から翌8時30分までの間に外来受診し帰宅された方が対象となります。